

## 研修報告書 No. 8

所 属： 昭和大学横浜市北部病院

研修先： 土佐市立土佐市民病院

2019年6月3日～30日までの4週間の研修生活について報告させていただきます。基本的には土佐市民病院で研修させていただきましたが、井上病院に2日間、伊与木クリニック、ひろせクリニック、とさの里に1日間研修させていただきました。

土佐市民病院では、月～水曜日の午前は内科外来で、他の時間帯は病棟業務やフリーの時間でした。内科外来では風邪から重症まで様々なタイプの患者さんを診察することができとても勉強になりました。わからないことがあったらいつでも電話してねと先生が言ってくれたことで、診察の途中で迷うことがあったら迷わず相談させていただいていました。内科志望ということもあり、内科外来は経験しておきたかったために担当することができて良かったです。

病棟業務では、自分が内科外来で診察して入院することとなった患者さんを主に担当医や主治医として担当させていただきました。研修生活を通じて初めて主治医として患者さんを担当させていただいたことでモチベーションがあがりました。今までは担当医の中の一人であることが多かったので方針まで決めることができませんでしたが、今回は主治医として方針などを提案させていただくことができ良い経験になりました。なるべく患者さんに直接会いに行き方針を一緒に考えることに努めました。

フリーの時間は超音波検査をやらせていただいたりオペに参加させていただいたりしました。超音波検査は自分の所属病院ではほとんどやる機会がありませんでしたが、毎回やらせていただくことができ自信を持つことができました。オペでは毎回術野に入らせていただき簡単なものは執刀させていただくことができました。

井上病院では、外来見学をさせていただきながら、内視鏡検査、心エコー、PTPAを見学させていただきました。PTPAは日本でできる人はほとんどいないようで大変貴重な経験となりました。理事長先生にはたくさん食事に連れて行っていただいたり、観光も案内していただきとてもお世話になりました。病院経営など裏側の話も聞くことができました。将来開業も考えているため経営の話は参考になりました。

伊与木クリニックでは、外来見学をさせていただき、学校検診、グループホーム訪問にも同伴させていただきました。外来見学ではAKAという関節可動域を広げ痛みをとる治療をみることができました。学校検診やグループホームは、普段大学病院に勤務している時は経験できないことであるため今回見学することができて良かったです。

ひろせクリニックは、午前は外来、午後はリハビリを見学させていただきました。リハビリに特に力をいれており、脳卒中後の片麻痺やパーキンソン病などの難病のリハビリを見

学させていただくことができました。

とさの里では、入浴介助、食事介助を実際に体験させていただきました。また、移動時において介護者の負担が少なくてすむという最新の機器についても説明していただきとても勉強になりました。

普段の生活としては、平日は自転車で近所を散策したり温泉にいったりしていました。住んでいたところが土佐市が駅から離れたところであったために、平日は近くで過ごすようにしました。休日はダイビングのライセンスを取ったり、龍河洞や高知城や日曜市や道後温泉といった四国の主要な観光名所を観光させていただきました。四国には初めて来たためにいろいろな文化や関東との違いを知ることができました。

高知は海鮮系を中心にとっても食事がおいしくて毎回の食事が楽しみでありました。値段も関東よりもだいぶ安いことに驚きました。また、自然も豊かであり伸び伸びと過ごすことができました。人も関東よりも優しい人が多くて、勤務中や観光中もいろいろと助けていただきありがたかったです。また、高知を含め四国に来てみたいと思いました。

最後になりますが、4週間という短い時間でありましたがとてもお世話になりました、ありがとうございました。